

陽風語録

家庭を大切にする心はふる里を愛し
その心は国を愛する心でもある



節分祭に金城大学短期大学部
丹羽教授をお招きして

小部屋からの独り言

「道徳論が何故…」

理事長 安田隆明

戦後六十有余年、その間失われた負の遺産はあまりにも多く、今もなお残されている。勿論、この負に對し、先人、先達の英知により経済大国として列国に伍し、平和を享受している今の世に感謝しなくてはならない。

しかし、物に走り心を失い凶悪犯行が多発し、情愛なきを憂うる今の世であり、教育の荒廃と言われるのも負の患いである。幸い、安倍内閣は国の将来像を「美しい日本」の創造とし、教育改革を最重要課題として、基本法の改正に引き続き目下関連法案を策定中である。

凡そ、義務教育をはじめ社会、家庭教育は、国造りの原点である。しかし、改正法には「世界の中の日本人」「亀鑑意識の昂揚」等の文言はあるものの、今求められているのは古来我々が教育された恩愛と情愛のある道徳観の教育理念ではなからうか。なぜ道徳教育という徳目が明定されないのか不思議でならない。

父母なくして子はなく、子はまた父母あつての兄弟である。父母に孝志を尽くし家族仲良くすることは、人倫の大義でもある。施設とは、この情愛と恩愛の心の宿る館でもある。また、道徳観があつての「美しい日本」ではなからうか。

自立支援へ向っての ホームレス!?

三陽ホーム施設長 中川義人

現在、大都市を中心に公園や河川敷などで野宿生活を送るホームレスが増加し、大きな社会問題となっております。

自立の意思がありながらホームレスとなることを余儀なくされた者が多数存在し、日々の衣・食・住の確保や健康面でのさまざまな問題、課題を抱えるなど、健康で文化的な最低限度の生活を送ることのできない状況の下で日々暮らしています。

こうした中、厚生労働省では、一九九九（平成十一）年五月に取りまとめた「ホームレス問題に関する当面の対策」を踏まえ、ホームレスに対し、宿所及び食事の提供、健康診断、生活相談、指導等を行うとともに、公共職業安定所の相談による就労相談・雇用の紹介等を行う「ホームレス自立支援事業」を実施するなど、ホームレスの自立を支援するための各種の施策を推進しています。

さらに、ホームレス問題の解決に資することを定める「ホームレ

スの自立に関する特別措置法」が二〇〇二（平成十四）年七月に成立しています。

また、法が成立したことに基づき、二〇〇三（平成十五）年一月から二月に行ったホームレスの実態に関する全国調査の結果をもとに、同年七月に「ホームレスの自立の支援等に関する基本方針」を策定したところであります。

厚生労働省においては、雇用、住宅、保健医療、福祉等の各分野にわたって施策を総合的、計画的に推進していくこととしているのです。

参考までに先の全国調査の実態を列記します。

- 一、調査の概要
 - ①全市区町村において、目視によるホームレスの人数の調査
 - ②約二、〇〇〇人を対象に、面接（個別）による生活実態調査
- 二、調査の結果
 - ①全国のホームレスの数は、二五、二九六
 - ②生活実態

- ・平均年齢 五五・九才
- ・生活場所 公園 48.9%
- 河川敷 17.5%
- ・直近の路上期間
 - 一年未満 30.7%
 - 一〜三年未満 25.6%
 - 三〜五年未満 19.7%

- ・仕事をしている者 64.7%
- その主な内訳「廃品回収」 73.3%

- ・身体の不調を訴えている者 47.4%

（厚生労働白書より）

このような状況の中、法の趣旨を踏まえ、地方自治体において実施計画を策定し、ホームレスの自立を積極的に進めるとともに、新たにホームレスになることを防止し、地域社会におけるホームレスに関する問題の解決が図られることを目指すものであります。

このことを受けて、ここ金沢市も福祉健康局生活支援課が事務局となり、『金沢市ホームレス問題連絡協議会』が、今年度平成十九年一月十日に創立総会が開催されました。（準備段階として、平成十八年七月十三日に幹事会が開かれ、その後、一〜二回開催されました。）

協議会の構成は、「幹事会（実

務者レベル）」と「理事（会）」で成立しています。その協議会委員としては、石川県、警察、地元住民、JR金沢支社、医療機関、福祉施設、就労支援関係の各機関から、二名の委員で構成されています。

現在、金沢市内において、金沢駅周辺を中心として、約二十人のホームレスの人たちの存在が確認されています。

近年の激しい社会情勢の下、ホームレスの数は今後も増加傾向が続くと思われます。

一方で、地域社会との軋轢が所々で生じ、関係機関へ市民からの苦情等が増加の兆しを見せています。

こうした中協議会の活動方針の重点施策は、自立支援へ向けた展開として、①就労機会の確保 ②安定した住居の確保 ③保健及び医療、福祉の確保 ④生活に関する相談・指導 ⑤家族・地域社会との融合の五項目の施策で各団体がこれまで以上に連携を強化して、地域社会におけるホームレス問題の解決に向け、積極的に活動を展開していくことを趣旨として支援していくものです。

園だより

節分祭

この日を待ってました！といわんばかりの雪。今年初の雪が前日から降り始め、節分祭当日、園の正面は白く化粧してました。今年は、ご来賓として金城大学短期大学部丹羽俊夫教授をお招きし、例年通り、園講堂で安田理事長と利用者の年男・年女の代表者一六名により盛大に豆まきを行いました。「おにはあゝ外！ふくはあゝ内(家)！」と司会者の威勢のよい掛け声と共に一斉に撒かれる豆。講堂一面に福が住みつき、あつという間に鬼は出て行ったような気がします。

最後になりましたが、大変お忙しいところ、またお足元の悪い中、ご来園下さいました丹羽金城大学短期大学部教授、本当にありがとうございました。



歌手
山本あき 来演
(万陽苑)

毎月第一日曜日恒例、家族会主催の『誕生会』(一月七日)に、



ポランティアの一人として二〇〇六年・第四十八回レコード大賞新人賞受賞の“山本あき”さんがデビュー曲『哀しみ模様』ほかを披露しました。

テレビの画面で見ていた県内の大物歌手のすばらしい歌声を生で聞くことができ、利用者には涙ぐむ方もおられ、何よりの“お年玉”になりました。



「地域包括の現状と今後の課題」

(お年寄り地域福祉センター)

改正介護保険制度のもと、地域福祉支援センターが設置されました。これは、金沢市特有の名称でその下に各地域の町名が入ります。設置数(人口二〜三万に一ヶ所)は、国の目標を達成しており理想どおりで、市内に十九ヶ所あります。

業務内容は、新予防給付ケアマネジメントと地域支援事業の二本の柱でなりました。介護予防プランの作成は、当初、国の方針が大きく変わり委託できる上限が設けられ、また、委託料が安く、引き受けてくれる事業者が少ない状況であり、現在の委託率は約二十％前後です。そのため、百六十件近いプランの作成に追われているのが現状です。三月末までに要支援一・二のリストは、約三百件に達すると市から予告されております。

特定高齢者については、当初介護保険の第一号被保険者の概ね五％程度が見込まれていましたが、蓋を開けると〇・二％で、かなり低い水準にとどまっています。当センターでも市の開催する予防教室に参加している人は、ほんの数名にすぎません。地域包括の二つ目の大きな役割は

「総合相談」「権利擁護」「包括的・

継続的ケアマネジメント支援”の四つの業務をスムーズに運営することです。当センターでは、権利擁護事業として十四件の事例と向き合いました。多くは、親の年金の搾取など金銭問題が絡んだケースや、認知症が進み金銭管理ができなくなった人への支援でした。「包括的・継続的ケアマネジメント支援」は、エリア内の居宅介護事業所のケアマネのネットワーク作りやサービス提供事業所のネットワーク作り、そして予防プラン委託事業所のネットワークとお互いに顔の見える関係にし、信頼関係を構築した所です。

今回の制度改正の中には、要支援一・二に変わられた方がサービス量が減ったことで苦情を訴える人もあり、サービス担当者会議で納得してもらったり、状態区分変更届けを出された方もおられました。

今後の課題としては、センターに配置されている三職種の連携やスキルアップが求められ、さらに専門性が問われることと思われまます。現在、予防プランの作成に追われ、ワンストップサービスの拠点として創設されたセンターの機能が充分果たされていないように思われます。民生委員さんなど地域から上がってくる困難ニーズへの対応に重点を置き、地域福祉の拠点としての活動が求められています。

施設だより

向陽苑

「養護老人ホームに関する 制度改正」

老人福祉法の改正等が平成十八年四月一日に行われ、養護老人ホームは「外部介護サービス利用型施設」に転換することとなりました。九月の老人福祉週間期間中に利用者・家族の方々に対し説明会を開催し、十月一日よりサービスを開始しました。特定施設入居者生活介護型サービスとは、向陽苑が特定施設の指定を受け、要介護認定を受けた利用者と契約を結んだ上で、事業所が委託する向陽苑訪問介護センター・陽風園の各通所介護事業所による居宅サービス等を提供するものです。

これまで向陽苑の利用者は、毎月介護保険料は納めても介護サービスを利用できず、なんとも不平等な状態でしたが、今回の見直しにより向陽苑でも要介護認定で介護度が認められた方（十月一日現在、六十四名）は、外部介護保険事業者の介護サービスを利用することが出来るようになります。通常は介護保険サービスを利用した場合、一割負担が掛かりますが養護老人ホーム利用者にあつては、費用徴収基準に定める階層区分に応じて措置費より助成されるため、年収百五十万円以下の方は、比較的わずかな負担で済みます。

十月から十二月までの利用者は延べ八十一名ですが、特に通所介護サービスを利用しての方々より“とてもお風呂は綺麗で安心だし、ドライブはとても良い気分転換になります”と歓迎の声が多く聞かれ、運営面では、職員配置が見直され職種の名称も一部変更となり、これまでの養護老人ホームの相談員が四名から七名、介護職員が支援員となり二十七名から十三名、特定施設の介護職員が五名、訪問介護事業所の職員が六名となりました。相談員が増え支援員が減った理由は、養護老人ホームが介護の場ではなく、あくまでも生活の場であるということ。また自立支援には相談員の役割が欠かせないと判断されたためです。また、これまでであった病弱者加算の廃止・措置費の減額等によつて生ずる減収部分は、訪問介護サービス（オムツ交換・通院介助・入浴介助等）によつて補う事となりましたが、実際には介護職員の人数によつて提供できるサービス量に制限があるため、これまでと同じ介護をしていても介護職員が増えなくなるため、収入の増になつていないのが現状であり今後の課題です。

満足度の高いサービスを利用できる機会ができたことは評価できる点です。

第二万陽苑

年忘れ会



二〇〇六年十二月十三日、恒例の年忘れ会が行われました。今年の日玉は、バラエティに富んだ余興の数々でした。

ティアさん二組、職員が二チームの計四つが出し物が披露されました。まずは歌謡ショーです。美空ひばりのヒットメドレーを皆さんとともに歌い、その歌声に酔いしれました。次に和太鼓の演奏が行われ、勇壮な太鼓の音色が苑内中に響きわたりました。そして、職員の余興は「オレ自慢大会」として職員が空手、ギターなどの特技を利用者もカラオケで自慢のノドを披露しました。最後は今年の出来事を振り返り、扮装しながら登場。秋篠宮悠仁親王ご誕生やハンカチ王子の斉藤投手が紹介され、大いに盛り上がりました。

年を締め括る年忘れ会は盛大なうちに終了しました。



陽風園日誌

11月

マウンテンリバーズ音楽ボランティア

南小立野小学校ふれあいリサイクル

金沢めぐみ幼稚園収穫感謝来園

上野保育園施設訪問

希望の会歌謡・舞踊・マジックボランティア

三陽祭

誕生会

喫茶

紅葉ドライブ

フエスタハビリ

ビデオ上映会

秋の旅

菊川健康づくり教室

みつくち健康講座

崎浦健康づくり教室

つつじが丘健康づくり教室

大桑団地健康づくり教室

内川健康づくり教室

希望者旅行

ランチドライブ

お父さんと遊ぼう会

報恩講

金沢市長選挙不在者投票

(老人四施設・三陽)

(陽風園、第二万)

(第二万陽苑)

(ハビリポート若葉)

(地域福祉支援センター)

(ハビリポート若葉)

(第二万陽苑)

(陽風園、第二万)

(陽風園、第二万)

施設だより

第三万陽苑

デイサービスセンター

“グー・チョコキ・パー”

“ジャンケンポン” 第三万陽苑デイサービスセンターでの午後からの活動はグループワークです。音楽を流しながら体操をし、その中で自己紹介を行い、そしてレクリエーションが始まります。一週間ごとにメニューを変え、その内容は頭を使うもの、身体を使うもの等を取り混ぜて行っています。最近、脳ゲームというのが流行っているようで、本やTV番組をよく見ます。「あなたの脳年齢は……」と数値が出るゲーム機もあるらしく、知的機能への低下が否めない高齢者に脳ゲームの様に、楽しみながら脳を刺激する活動はないものか。「皆さん、私に勝つて下さい」今、実践している後出しジャンケン。職員の一人在り、グーとなりジャンケンを出します。それを見て後から指示通りのジャンケンを出すのです。まずは勝つてもらいます。職員がグーを出せば皆さんはパーを、チョコキならグー、といった具合に。ほとんどの方は間違えることなく職員に勝ちます。そして次は指示を変えます。「私に負けて下さい、ジャンケンパー」後出しなんです、ついチ

ヨキが出てしまうのです。お隣りやお向いさんのお手を見て慌てて変えている人、職員だけを見て勝ち誇つたように腕を上げている人。「自分の間違いに気付くよう負けて下さいね」と繰り返し言います。あつと気付いた時の慌てぶりに自分自身も周囲も大笑い。短い時間ですが、毎日のメニューに加えています。

“グーチョコキパー”。単純なようですが、高齢者にとつては手指機能の訓練となり、勝つ為には何をすれば良いのか、負ける時は何を出すのかを考え、正しいのか間違つたのか周囲と見比べたり、考えたりするのです。これにつて結構刺激になっていると思いませんか。始めて一年近くになります。体操の一環として行う事にも慣れてきたようで、それでも時々間違いがあり笑いが絶えません。「あなたの脳年齢は？」数値を表す事は出来ませんが、頭も身体も使える楽しい時間を作りたいと思います。

頭も身体も使える楽しい時間を作りたいと思います。



三陽ホーム

作業収益還元旅行

作業収益還元旅行は、園芸班、ステンシル班、室内作業班それぞれ一年間の作業収益をもとに、利用者の皆さんの一年間の労をねぎらう事を目的としている恒例行事の一つです。

今年、山代温泉一泊を二班、ホテルでの食事を七班にわけて実施しました。

食事も第一班がホテルへ向つた日は、まだ二月というのに春の様な暖かい日でした。

食事会場は、解放感あふれ、窓からの眺望は冬の日差しを受け輝き、場内には心地よいBGMが流れていました。

また、社交マナーを身につけるため七名と少人数での食事会としました。利用者の皆さんも、落ち着いた表情で食事をしていらっしゃる方や、美味しい料理に笑顔がこぼれる方など、楽しい雰囲気の中、食事会が終了しました。

これからも利用者の皆さんに満足して頂けるような企画を考えていきたいと思えます。

12月

金沢市長歳末見舞

西条康夫歌謡・舞・マジックポランティア

美容ポランティア

石川県知事歳末慰問

押野ときわ会大正琴ポランティア

（陽風園）

年忘れ会

（各施設）

誕生会

（各施設）

喫茶（向陽、万陽、第二万、第三万、三陽、若葉、木越デイ）

十一屋健康づくり教室

菊川健康づくり教室

内川健康づくり教室

大桑団地健康づくり教室

つつじが丘健康づくり教室

（地域福祉支援センター）

未就園児と父親の遊ぼう会

（みずき保育園）

菖玉づくり

クリスマス会

（みずき保育園）

健康教室

鍋を囲む会

クリスマスケーキ作り（木越デイ）

（各施設）

ゆず湯

（各施設）

終い湯

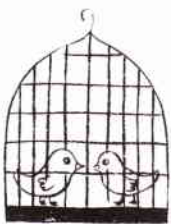
（各施設）

介護ネットワーク委員会

（各施設）

仕事納めの式

（特養三施設・診）



（陽風園）

施設だより

ハビリポート若葉

フェスタハビリ

ハビリポート若葉の年間行事の一つであるフェスタハビリ。今年も、恒例の模擬店や、施設で作った野菜と卵の即売、職員と地域の方のアトラクションを行いました、多くの笑顔を見る事ができました。



十一月十日の当日は、本当に多くの方に当施設まで足を運んで頂きました。外はあいにくの空模様でしたが、

施設内は、家族の方や友達同士と楽しそうに話を弾ませている利用者の方々の雰囲気活気に溢れていました。施設で作った新鮮な野菜と卵の即売は、毎年すぐに売り切れてしまう程の人気で、今回も多くの方に買って頂きました。農耕班、養鶏班の方は「たくさん売れたよ」と笑顔いっぱい表情で職員に教えてくれました。自分達が作ったものを喜んで買ってもらうという事で、これから毎日作業をする上での励みになる事と思いません。模擬店では、おでんやカレー、

豚汁等のメニューを用意し、食堂サンライズにて食事を楽しんで頂きました。特大の鉄板の上で作るこだわりの焼きそばが毎年人気ですが、今年は少々寒かった事もあり、焼きそばに劣らずおでんが好評で「もつと食べたい」といった声も聞かれました。体育館でのアトラクションでは、未町ひよいひよい太鼓保存会による太鼓演奏、内川学童クラブによるソーランが披露されると、観客席からは大きな拍手と歓声が上がりました。どちらも躍動感溢れる演技で、見よう見まねで踊りだしたり、声を掛け合ったり、みなさん思い思いに楽しみながら地域の方と触れ合っていました。また、他施設へ異動になった職員が、連日夜間体育館に集まり、練習を重ねた踊りを披露した時は、その中に懐かしい顔を見つけては大変喜んでいました。

今後もしっかりと行なう事で、日頃から笑顔溢れる施設であるよう励んでいきます。



あけぼの作業所

作業参観・懇談会

あけぼの作業所では毎年十一月に作業参観・懇談会を行っています。保護者の方々が作業の様子を見に来られるので、うれしい恥ずかしいといった様子で照れながら作業に取り組んでいる方や、いつも以上に張り切っている方など利用者のみなさんの反応も様々ですが、とても明るい雰囲気の中で楽しく行われています。

この作業参観・懇談会は、保護者の方に作業内容や施設での様子を見てもらおうと共に、個別支援計画の説明や確認をしていく大事な機会の一つです。また、施設にとっても利用者の方々の様子など、施設以外の顔を見せられる大事な役割を持っています。支援を行っていく上で個人を知る事はもちろん信頼関係がとても重要です。そのようななかで膝を交えて話し合えるような機会は大変貴重なものだと考えています。

今後この作業参観・懇談会を通して施設への理解を深めてもらうと共に利用者・保護者のニーズを把握し、少しでも良いサービスを提供できるよう努めていきたいと思っています。

陽風園日誌

1月

年頭のあいさつ・仕事始めの式

初湯 (陽風園)

初釜 (各施設)

初詣 (向陽、第二万、三陽)

健康教室 (木越デイ)

新年会 (各施設)

喫茶 (第二万、三陽、若葉、木越デイ)

誕生会 (各施設)

ビデオ上映 (第二万、若葉)

BBS連盟ボランティア (万陽苑)

十一屋健康づくり教室

つつじが丘健康づくり教室

大桑団地健康づくり教室

(地域福祉支援センター)

表現会 (みずき保育園)

シヨッピング

(第二万、第三万、第三万デイ)

木越デイサービスセンター利用者のみずき保育園児との交流会

(みずき・木越デイ)

保護者の会総会 (ハビリポート若葉)

家族介護教室 (第三万デイ)

介護ネットワーク委員会

(特養三施設・診)



施設だより

木越デイサービスセンター

節分祭

木越デイサービスセンターでは、二月二日に節分祭を行いました。サランラップの芯や紙袋などを再利用し、利用者と共にいろいろな表情の鬼や鉄砲を作成しました。それを鬼退治と称して射的のように遊んだところ、皆さんとても真剣な表情で的を狙い、職員より数段上手でとても驚きました。

豆まきでは、あまりの可愛い鬼の登場に皆さんからは笑顔がこぼれ、豆を投げるところか握手をしていました。豆まきが始まった後も、当たっても痛くないようにと、気を遣われる姿も見られました。

今年には年女の利用者に、福の神役をして頂きました。袴は型紙をとったりと大変な思いをして作成しましたが、とても嬉しそうに着用され、豆を配る姿を見て、大変だった事が喜びに変わりました。これからもたくさん笑顔が見られるよう、楽しい行事を企画していきたいと思いましたが。



みずき保育園

世界に一つだけのみずきカルタ

昨年暮れにみずき保育園の職員全員で、カルタ作りをしました。カルタはカルタでも瑞樹地区の特色、みずき保育園の特徴を生かした世界にたった一つのカルタです。一人二文字を担当し、文章を考え、それに見合う絵を描きました。大きさも普通のカルタよりも大きいジャンボカルタです！一人ひとりが心を込めて作ったカルタは、それぞれの個性が出ていて、とても味のあるものに仕上がりました。仕事の合間を縫って作ったりと、忙しい中でもみんな一つのものを作り上げるといのは達成感もあり、とても素敵なことだと感じました。

保育の中でも子どもに対して「みんなで作ると楽しいね」「自分で作り上げることは嬉しいね」などと伝え、作ることの喜びを感じてもらえるよう関わっています。私達保育士自身がこのような経験をすることで、子どもにも本当のよさを伝えていけるんだなあと感じた体験でした。そして何よりも子どもが活用してくれることに喜びを感じています。来年はどんなカルタを作ろうかな？

利用者の変動状況 (11月～1月)

施設名	利用者数 (2月1日現在)	入 所	退 所
向陽苑	240	4	5
万陽苑	184	25	36
第二万陽苑	141	32	33
第三万陽苑	145	11	13
三陽ホーム	104	1	0
ハビレポート若葉	210	0	1
あけぼの作業所	40	0	0
みずき保育園	169	1	1
診療所	16	23	26
合 計	1,249	97	115

在宅サービス利用状況 (11月～1月)

施設名	事 業	延人数
万陽苑	ショートステイ	351
	デイサービス	963
	ホームヘルプサービス	298
	配食サービス	659
	移送入浴サービス	45
	居宅介護支援事業	641
お年寄り地域福祉支援センター	介 護 相 談	387
	木 越	
木 越	デイサービス	744
	居宅介護支援事業	98
第二万陽苑	ショートステイ	321
	ホームヘルプサービス	413
	居宅介護支援事業	82
金沢南	居宅介護支援事業	368
第三万陽苑	ショートステイ	241
	デイサービス	576
	居宅介護支援事業	209
ハビレポート若葉	ショートステイ	15

ふれあいのまちづくり事業活動

講師派遣日数			
11月	12月	1月	計
0	0	0	0

感謝録

11月～1月

(順不同・敬称略)

ボランティア

- マウンテン・リバーズ (金沢市)
- 上野保育園 (金沢市)
- 希望の会 (金沢市)
- すみれ会 (金沢市)
- PL金沢南教会 (金沢市)
- 押野地区ときわ会 (金沢市)
- 真如苑 (金沢市)
- ひまはりの会 (金沢市)
- 第二万陽苑家族会 (金沢市)
- ひばり企画 (金沢市)
- 有縁太鼓 (金沢市)
- 合歓の会 (金沢市)
- 縁の会 (金沢市)
- 葉月の会 (金沢市)
- 三色すみれの会 (金沢市)
- フレンズ優 (金沢市)
- 末町ひよひひよひ太鼓保存会 (金沢市)
- 内川学童クラブ (金沢市)
- 家庭教育振興協会スコーレ (金沢市)
- 西条 康夫 (金沢市) 山本 あき (金沢市)
- 新畑 光文 (金沢市) 安岡 龍男 (金沢市)
- 勝尾外美子 (金沢市) 宮口 文泰 (金沢市)

寄附物品の部

- 朝倉 薫 (金沢市) 大石恵梨華 (白山市)
- 柳川 桂子 (津幡町) 樋爪 宏美 (金沢市)
- 松村 未望 (金沢市) 宮田実可子 (川北町)
- 酒本 真弓 (白山市)
- (株)サンライン (金沢市)
- 金沢ワシントンホテルプラザ (金沢市)
- 押野地区ときわ会 (金沢市)
- JA石川県女性組織協議会 (金沢市)
- 美川婦人会 (白山市)
- (株)世界文藝社 (大阪市)
- 富国生命金沢支社外野倶楽部 (金沢市)
- 金沢南郵便局 (金沢市)
- 野田中学校校下婦人会連絡協議会 (金沢市)
- 弥生公民館 (金沢市)
- 辰巳 靖夫 (金沢市) 吉井 幸司 (金沢市)
- 堀 和子 (金沢市) 西田 将機 (白山市)
- 肩 幸吉 (金沢市) 松田 忠秋 (金沢市)
- 大部 雅子 (川崎市) 佐々木寛子 (金沢市)
- 米永 敏信 (金沢市) 得能キヨ子 (野々市町)
- 中沢 健一 (金沢市) 笹尾 竹松 (加賀市)
- 三崎 俊光 (金沢市) 京徳三四子 (七尾市)
- 奥谷千庸子 (金沢市)

寄附金の部

- 菊川社会福祉協議会 (金沢市)
 - (株)福祉施設共済会
 - 辰巳 靖夫 (金沢市) 末田佐智子 (金沢市)
 - 中藪 信治 (白山市) 山崎昭一郎 (金沢市)
 - 小野 陽子 (金沢市) 飯田 實 (金沢市)
 - 大橋 武次 (金沢市) 中富 武志 (金沢市)
 - 浅田
 - その他匿名 三十名
- ご厚意ありがとうございました。

